



# 高輪だより

令和6年度2月号

港区立高輪幼稚園

園長 佐藤 幸子

わくわく ぼかぼか  
みんなえがおの  
たかなわようちえん

問いにより、探求が広がり、深まる

園長 佐藤 幸子

1月の高輪タイムでは、「とうきょうすくわくプログラム」の取り組みで、サイエンティナーの講師の先生をお招きして科学遊びをしました。

「とうきょうすくわくプログラム」は幼稚園や保育園ですべての乳幼児の「伸びる・育つ」「好奇心・探求心」を応援する幼保共通のプログラムです。テーマを決めて、教師が幼児に問いを投げ掛け、環境をデザインし、幼児が探究する活動です。

講師の先生は、科学遊びの中でたくさんのお問い掛けをしていました。「これは、どうなると思う」「今は、こうなったよね。じゃあ、次はこうしてみたらどうなるだろう」その度に、子どもたちは、自分なりに考えたことを先生に伝えながら夢中になっていきました。科学遊びを通して、子どもたちの頭の中は、フル回転で考えが巡っている様子が伝わってきて、私は、問いの大切さを感じました。

分かりやすく子どもたちが考えやすい簡単な問い掛けが、探究のきっかけとなり、そして、どんな考えも「えっ、そうか、おもしろいね」と受け止めてくれるので、どんな考えでもいいのだという安心感をもち、子どもたちからどんどん考えがでてきました。そうしているうちに考えが広がったり、深まったりしていきます。

「とうきょうすくわくプログラム」高輪幼稚園のテーマは「園庭の自然」です。調子の悪かったビオトープ、老朽化した花壇を改修し、コンポストや屋外用のテーブルも準備して環境を整えていきます。今年度を含めて5年間の取り組みです。教師も一緒に楽しみながら、子どもたちの探究活動ができるようにし、豊かな心の育ちを支えていきます。



夏みかんの収穫



はい。どうぞ



どうしてくねくねするのか